

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, February 2020

課長：佐藤 裕久 H. Sato

幹事：下元 繁男 S. Shimomoto

○ 2月の状況 (佐藤)

☆ C/2020 A2 (Iwamoto) (写真 a)

彗星課メーリングリスト (oaa-comet ML、以下同じ) などに次のように報告があった。

2月5日 13:13、筆者から「高橋さん(D95)は2月1日の観測について、『ほぼ半月ぶりの観測になりましたが、大きく明るくなっています。測光範囲は直径 199"です。薄雲を通しての撮影のせいか、尾は見られませんでした』とのコメントがありました。2月4.78日 UT、私(Q23)は、0.25-m f/4反射+CCDで全光度を12.3等と測定しました」とのコメントと画像を紹介し改良軌道要素を報告した。

10日 18:52、筆者から「2月6.75日 UT、門田健一さん(上尾:349)は 0.25-m f/5.0 反射+CCDで全光度を11.4等と観測しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

15日 00:36、張替憲氏(千葉県船橋市)から「未明に明るい彗星が少なく、岩本彗星のみの観測です。コマは約2分の集光のある円盤状です。はっきりとした青緑色をしています」とのコメントと光度観測を報告された。

27日 21:17、筆者から「2月11.80日、20.81日 UT、高橋俊幸さん(栗原:D95)は0.25-m f/4.2反射+CCDでそれぞれ全光度を11.8等、11.7等と観測しました。2月11日『拡散した印象で測光範囲は直径389"です』、2月20日『測光範囲は直径398"です』とのコメントがありました。2月14.77日、23.74日 UT、門田健一さん

(上尾:349)は0.25-m f/5.0反射+CCDでそれぞれ全光度を11.9等、12.2等と観測しました。2月26.76日 UT、池村俊彦さん(新城観測所:Q11)が0.35-m f/5反射で撮った CCD 画像から、私は全光度を12.2等と測定しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

2月中、国内で位置観測したのは他に、安部裕史氏(島根県松江市八束:367)、野口敏秀氏(千葉県香取市:Q24)であった。

☆ C/2017 T2 (PANSTARRS) (写真 b)

27日 22:45、筆者から「2月11.53日 UT、門田健一さん(上尾:349)は 0.25-m f/5.0 反射+CCDで全光度を9.6等と観測しました。2月15.51日 UT、高橋俊幸さん(栗原:D95)は0.25-m f/4.2反射+CCDで全光度を10.4等と観測しました。2月20.47日 UT、池村俊彦さん(新城観測所:Q11)が0.35-m f/5反射で撮った CCD 画像から、私は全光度を9.3等と測定しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

2月中、国内で位置観測したのは他に、安部裕史氏(島根県松江市八束:367)であった。

☆ C/2019 Y1 (ATLAS) (写真 c)

10日 18:48、筆者から「2月7.38日、9.38日 UT、門田健一さん(上尾:349)は0.25-m f/5.0反射+CCDでそれぞれ全光度を11.4等、11.2等と観測しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

27日 22:08、筆者から「2月 11.39日、15.39日、24.39日 UT、門田健一さん(上尾:349)は0.25-m f/5.0 反射+CCD でそれぞれ全光度を11.1等、10.9等、10.7等と観測しました。2月 11.40日 UT、高橋俊幸さん(栗原:D95)は0.25-m f/4.2 反射+CCD で全光度を12.0等と観測しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

2月中、国内で位置観測したのは他に、安部裕史氏(島根県松江市八束:367)であった

☆ C/2019 Y4 (ATLAS) (写真 d)

17日 20:15、筆者から「MPEC 2020-C98 に公表された以外の観測を加え改良しました。2月 10.68日、22.56日、23.63日 UT、門田健一さん(上尾:349)は0.25-m f/5.0 反射+CCD でそれぞれ全光度を15.5等、13.2等、13.0等と観測しました。2月 18.73日、23.57日 UT、池村俊彦さん(新城観測所:Q11)が0.35-m f/5 反射で撮った CCD 画像から、私はそれぞれ全光度を13.1等、12.9等と測定しました。2月 20.52日 UT、高橋俊幸さん(栗原:D95)は0.25-m f/4.2 反射+CCD で全光度を13.1等と観測しました。『測光範囲は直径112"です』とのコメントがありました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

3月 5日 01:20、筆者から「2月 27.61日 UT、池村俊彦さん(新城観測所:Q11)が0.35-m f/5 反射で撮った CCD 画像から、私は全光度を12.0等と測定しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

2月中、国内で位置観測したのは他に、安部裕史氏(島根県松江市八束:367)であった。

○ 2月に発見が確認された彗星

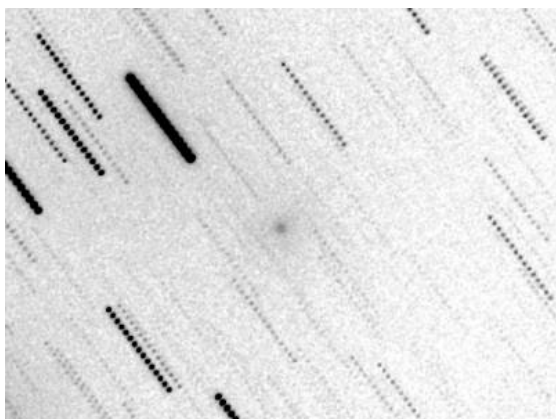
☆ C/2019 C1 (ATLAS) 2019年 2月 5.5日 UT、ハワイ Mauna Loa にある小惑星地球衝突最終警報システム Asteroid Terrestrial-impact Last Alert System (ATLAS) 調査プログラムのコースに0.5-m f/2 Schmidt 反射望遠鏡で得た CCD 画像から小惑星状天体が発見されたが、他の場所の CCD 位置観測者によって彗星状の外観があることがわかった。また、2019年 1月 14日、Haleakala にある0.5-m 反射望遠鏡で得た発見前の ATLAS の観測がある。この天体は彗星のような軌道により A/2019 C1 との符号がつけられ、MPEC 2019-D42 に発表されていた。M. Micheli の報告によると、2019年 3月 5.37日 UT、K. J. Meech と J. Kleyna は、Mauna Kea にある3.6-m Canada-France-Hawaii 望遠鏡で得た120秒の r-バンド画像から、北西に約7"の曲がった尾が見え、小さなコマの FWHM (半値全幅)がシーイング0".75 に対して1".0 であった。佐藤英貴氏(東京都文京区、iTelescope 天文台、0.51-m f/6.8 アストログラフ、Siding Spring、遠隔操作)は、2019年 11月 7日、60秒露出8枚のスタックで、強い集光した8" のコマがあり、p. a. 270-300° にわたって12"の扇状の尾が見える。6".6の円形範囲で測定した光度は17.8等であった。佐藤英貴氏はさらに2019年 12月 27.7日、60秒露出6枚のスタックで、強い集光した12" のコマがあり、p. a. 275° に向かって30"の尾が見える。8".4の円形範囲で測定した光度は17.2等であった(MPEC 2020-C61, 2020 February 3, CBET 4721, 2020 February 5)。

☆ Comet C/2020 B2 (Lemmon) 1月 19日 UT、この天体(C1TOQN2)は新しい NEO 候補として Mt

Lemmon サーベイ (G96) によって通報され、NEOCP に公表された。その同じ夜、B. Ryan と E. Ryan (H01) によって観測され、非常に集光した 1" のコマと p. a. 290-310° に 3" の尾の存在を示したことから PCCP に移された (MPEC 2020-C110、CBET 4723, 2020 February 6)。

☆ C/2020 B3 (Rankin) 1 月 20 日 UT、この天

体 (C20NF62) は Mt Lemmon サーベイ (G96) で、彗星として D. Rankin により通報された。拡散状の 12" のコマと p. a. 270° に 9" の尾がある。追跡予報が小惑星センターの PCCP に公表された。1 月 30 日、R. Weryk の報告では、1 月 25 日に Pan-STARRS 2 (F52) で得た発見前の画像を見つけた。3".4 のコマが見える (MPEC 2020-C111、CBET 4724, 2020 February 6)。



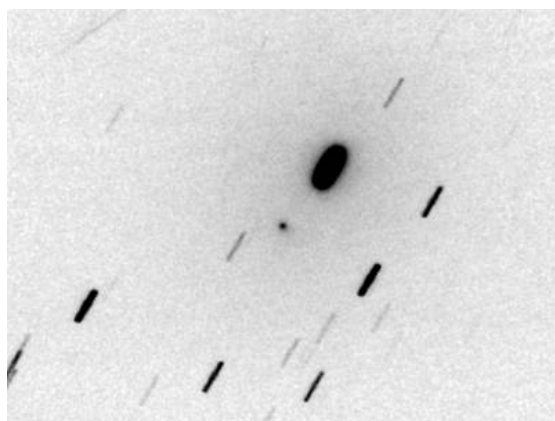
(写真 a) C/2020 A2 (Iwamoto)
2020, 02, 24 03h09.0m-40.4m (JST)
exp. 120s×15 TOA130 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) C/2017 T2 (PANSTARRS)
2020, 02, 18 20h28.3m-52.4m (JST)
exp. 120s×12 Sky90 + ASI 294
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 c) C/2019 Y1 (ATLAS)
2020, 02, 24 19h01.0m-17.1m (JST)
exp. 120s×8 Sky90 + ASI 294
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 d) C/2019 Y4 (ATLAS)
2020, 02. 24 00h30.0m-01h03.5m (JST)
exp. 120s×16 TOA130 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏

○ 主な光度等観測報告

2020	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
C/2017 T2 (PANSTARRS)											
Feb.	1.48	11.2	1.5'	-	>8.0'	135°	3/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
C/2018 N2 (ASASSN)											
Feb.	1.44	13.4	0.6'	-	>1.0'	160°	3/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
C/2019 Y1 (ATLAS)											
Feb.	1.68	16.2	0.1'	-	0.8'	290°	3/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
C/2019 Y4 (ATLAS)											
Feb.	22.84	13.1	1.5'	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑤
	23.77	13.5	1.4	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③⑤⑥
	27.76	13.2	1.3	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③⑤⑥
C/2020 A2 (Iwamoto)											
Feb.	1.77	10.9	1.8'	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③⑦⑧
	1.80	13.0	1.5	-	-	-	3/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	3.78	10.7	1.7	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑧
	22.84	12.1	2.0	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④
	23.78	11.5	2.0	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③⑥
	27.77	12.2	2.0	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③⑥
29P/Schwassmann-Wachmann											
Feb.	1.46	16.5	0.3'	-	-	-	3/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
76P/West-Kohoutek-Ikemura											
Feb.	1.56	18.1	0.1'	-	-	-	3/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
114P/Wiseman-Skiff											
Feb.	1.51	15.9	0.1'	-	0.8'	70°	3/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
246P/NEAT											
Feb.	1.67	16.4	0.1'	-	0.3'	300°	3/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
289P/Blanpain											
Feb.	1.54	18.0	0.1'	-	0.2'	245°	3/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②

* 45-cm F12 (レデューサー使用 F4.6) カセグレン反射+FLI ML8300。

** 15-cm F4 (レデューサー使用 F2.5) 反射+デジタル一眼 Canon EOS 6D。

① 観測地:長野県富士見町 五藤光学八ヶ岳観測所。② 60秒露出をAstrometrica UCAC-4で測定。
 ③ 15cm F2.5反射+Canon EOS6DのG画像をGUIDE9.0を使用してMakali i Ver1.4aにて測光。観測地は千葉県九十九里海岸。④ 60秒露出(30秒×2) ⑤ 徐々に明るくなっており、コマは中央集光のある円盤状。⑥ 50秒露出(25秒×2) ⑦ 120秒露出(30秒×4) ⑧ コマは約2分の集光のある円盤状。はっきりとした青緑色をしている。

※ 光度等の観測報告は、佐藤裕久宛て e-mail : hirohisa-sato@hi-ho.ne.jp に送付ください。